

記入例 離婚後、父から母に対して子との面会交流に関する調停を申し立てる場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

受付印		子の監護に関する処分（面会交流） 調停 申立書 審判
(この欄に収入印紙をはる。未成年者1名につき収入印紙1200円分)		
印紙		
(はった印紙に押印しないでください。)		
収入印紙	円	
予納郵便切手	円	

準口頭	関連事件番号 平成 年(家)第 号
-----	-------------------

<input type="radio"/> 家庭裁判所 御中	申立人の 署名押印 又は記名押印	丙 山 一 郎 印
平成 <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日		

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)
<input type="checkbox"/>	未成年者の戸籍謄本(全部事項証明書)
<input type="checkbox"/>	

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください(携帯電話でも構いません)。

住所で確実に連絡できるときは記入しないでください。

申立人	住所	〒 〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇マンション〇号 (方)
	呼出しのための連絡先	〒 - 電話 () (方)
相手方	フリガナ氏名	ヘイ ヤマイチ ロウ 昭和平成 丙 山 一 郎 〇〇年 〇月 〇日生
	住所	〒 〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇〇号 (方)
未成年者	フリガナ氏名	テイ ダ アキ コ 昭和平成 丁 田 秋 子 〇〇年 〇月 〇日生
	住所	〒 〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇〇号 (方)
未成年者	フリガナ氏名	テイ ダ ショウ タ 平成〇〇年 〇月 〇日生 丁 田 翔 太
	フリガナ氏名	平成 年 月 日生
	フリガナ氏名	平成 年 月 日生
	フリガナ氏名	平成 年 月 日生

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。

申 立 て の 趣 旨

未成年者の監護養育に関し、申立人と未成年者が面会交流する時期、方法などにつき調停・審判を求めます。

申 立 て の 実 情

(離婚等により親権者が定められている場合)現在の親権者 申立人 相手方

申立人と相手方が別居した年月日 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日

別居後の未成年者の監護養育状況

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日まで 申立人 相手方 のもとで監護養育

平成 年 月 日まで 申立人 相手方 のもとで監護養育

これまでの面会交流の状況

面会交流を行った。

頻度 { }
内容 { }

面会交流を行っていない。

(申立ての動機)

申立人は、相手方に対し、未成年者と面会させるように申し入れました。しかし、再三依頼

しても、相手方はこの申し入れを受け入れてくれません。

よって、申立人と未成年者とが面会交流できるよう、申立ての趣旨のとおり調停を求めます。

面会交流を行った場合には、その頻度や内容(時間、場所、方法等)を記入してください。

この申立てをするに至ったいきさつや事情を分かりやすく記入してください。

現在まで引き続き養育している場合は、申立書の作成年月日を記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。
 部分は、該当するものにチェックしてください。